

JCA会員の皆様へのご案内 2月号

- ・車椅子の贈与式典、会食のご報告
- ・ボンセイビソット副首相 昼食会
- ・カンボジア食材セミナー
- ・岡山県浅口市 カンボジア人材受け入れセミナー
- ・お知らせ



車椅子の贈与式典-プノンペン

1.2025年2月11日、日本で使われなくなった車椅子が、カンボジアの障害がある人などのリハビリ施設に贈られることになり、首都プノンペンで車椅子の贈与式典が開かれました。JCAは本プロジェクトに関して、寄贈元の「東京成城新ロータリークラブ」様とカンボジア側をお繋ぎし、輸送に関してサポートさせていただきました。式典にはJCAカンボジア事務所の久保田様に出席していただき、またNHKニュースでも大きく取り上げられ、日本とカンボジアを繋ぐお手伝いをさせていただきました。 **NHKで取り上げられました。**



*NHKニュースより引用

1.2月19日、上記の式典が終わってからカンボジアから国土管理・都市計画・建設省の副内閣であるソム・モノラム閣下以下4名が来日され、日本側は「東京成城新ロータリークラブ」から4名様、JCAからは加藤常務理事、田中常務理事が会食に参加いたしました。

ソム・モノラム閣下から「カンボジアでは十分な数の車椅子が足りていない中、今回の寄贈に関して本当に感謝申し上げます。まだまだカンボジアでは車椅子が足りていない状況なので、ぜひ引き続き車椅子寄贈をお願いしたい」との言葉をいただきました。

JCAとしては東京成城新ロータリークラブ様と連携して、他のロータリークラブ様とも協力して車椅子寄贈のサポートを展開していく所存でございます。

ぜひ今後とも日本とカンボジアをつなぐ活動をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(文責：田中)

ボンセイビソット副首相 昼食会

2025年ボンセイビソット副首相御一行と昼食会を実施いたしました。

ボンセイビソット副首相は、日本の官房長官にあたる方で、マネット政権よりも前は経済財政省で長官を務められていた方で、カンボジアではオーン・ポンモニラット経済財政大臣やハン・チュンナロン教育大臣と並んで、経済三羽ガラスと言われている方です。現在は省庁を横断して、フンマネット首相に政策提言を行う役割を担ってられることもあり、カンボジアではSMEクラスターとして中小企業に特化した政策も重要な一つの政策にしていることから、特に日本の中小企業が進出するにあたり、課題となることを広汎に議論することができました。

許認可等に時間がかかる点や、さまざまな省庁からのライセンス料、税務署からの不当な請求等、これらを改善していくことで、日本側の不安を払拭することは必須であるとお伝えいたしました。副首相からは、カンボジアにはビジネスの機会が多々あることから、日本の中小企業にもぜひ来てもらいたい。課題とされることを書き出して、フンマネット首相に提言をしていくことになりました。

協会として会員企業の皆様が安心して事業を営める環境を作るべく、今後も鋭意努力してまいります。

当日はカンボジアプノンペンで14年間フレンチレストラン、ザレジデンスにてシェフを務められていた加茂シェフがいるキタノホテル東京2階の光庵にて開催しました。副首相が長官の時から前財務相とレジデンスに通っておられたことから、加茂シェフとの感動の再会もプロデュースでき、素晴らしい昼食会になりました。

(文責：加藤)



カンボジア食材セミナー

2月19日16:00-18:00、カンボジアの主要産業である農業、それらの農作物を活用した農産物を料理という観点からビジネスの可能性を探る企画がアセアンセンターと在京カンボジア大使館との共催で開催されました。当協会から高橋会長と加藤、TBS様を大使館からご招待いただきました。

また2週間前に開催した昼食会の際に、シェフとして尽力くださった加茂シェフとソムリエの常盤様もご招待いただきました。

協会会員の中で現在農産物にアプローチされる方も多く、料理とのコラボレーションは非常に良い企画であると思いました。

当日はカンボジアのシェムリアップからシェフも来日されており、その場でカンボジアの名物料理が振舞われました。どれも大変美味しくて、カンボジアが懐かしくなりました。会場にはカンボジアで活躍される多くの方もいらっしゃっており、私自身も久しぶりにお会いする方と再会することができました。改めて可能性を感じるとともに、それを活かしていない現実からまだまだ力不足であると実感いたしました。

今後も気を引き締めて、必ず成果を出すべく会員企業の皆様の支援をしてみたいと思います。

(文責：加藤)



岡山県浅口市 カンボジア人材受け入れセミナー

2月20日、岡山県浅口市にて労働力不足解消向けカンボジアからの人材受け入れ拡大を図ろうと、事業者向けに人材受け入れ・投資環境セミナーが開催されました。33社、60名の申し込みがあり関心の高さが窺われました。トウイ・リー大使の挨拶から始まり、大使館職員による具体的な説明では参加者から多くの質問が寄せられていました。浅口市の栗山市長は「新たな雇用としてカンボジアからの人材を受け入れ、特産品の売り込みなどを通じて、カンボジアと浅口市がお互いにウィンウィンの関係性を築いていきたい」と期待を寄せていました。

当協会は日本カンボジア両国の発展に向けて、中小企業のカンボジア進出に加えて、地方自治体の連携を推進しています。2024年4月には、岡山県浅口市が特産品販路開拓を目的としたカンボジア視察のサポートをさせていただきました。その後、順調にカンボジア政府と協議を重ね、カンボジア政府と浅口市共催のセミナーが実現いたしました。

(文責：中間)



日本入国のためのビザ（査証）申請について

第4回視察団後に様々な企業がビジネスを立ち上げるべく尽力されていることと存じます。その中でカンボジア企業（ビジネスパートナー候補）が日本を視察に訪れる場合に在カンボジア日本国大使館にVISAの申請が必要になります。その際の情報はこちらです。

申請については以下の通り本人が申請を行う必要があります。原則、申請人本人が申請を行ってください。ただし、以下のいずれかの場合は代理申請が可能です。

- 1) 大使館が承認した代理申請機関（当協会法人会員クロマーさまを含む）はこちらを通じた代理申請
- 2) 配偶者や三親等以内の親族による代理申請
- 3) 成人に同行する18歳未満の子供のための代理申請（親権者が同行しない場合は、親権者の代理申請の委任事項を含めた同意書が必要です。）

カンボジア駐在の皆さまへ夕食懇親会のご案内

3/29日～4月5日まで、高橋会長と加藤事務局長がカンボジアに出張します。つきましては、会員の皆様との懇親会を開催いたしたくご参加いただけますと幸いです。

3/30（日）夕食会@プノンペン

担当幹事：JCAカンボジア事務所事務局 久保田光広氏

詳細が確定次第ご案内申し上げます。

日本から出張されている皆様、カンボジア駐在の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

カンボジア現地のホットな情報はこちら

カンボジア通信



一般社団法人 日本カンボジア協会事務局

発行人：中間貴恵

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目16番6号 虎ノ門RAPO-TOビル UCF7階

問合せ先: info@japan-cambodia.or.jp

ホームページ: <http://japan-cambodia.or.jp>